

景觀審議會資料
平和公園通り線道路整備事業
(設計段階)

《事業概要》

〈計画地及びその周辺の状況〉・・・資料①、②参照

市道平和公園通り線は、青柳一丁目2番1号地先を起点に、国道4号を横断して、勝田二丁目159番2号地先を終点とする延長約1.5kmの幹線道路である。

このうち整備区間となっているのは、国道4号から市道うとう橋通り線を結ぶ歩道部、片側約200mの両側約400mの区間であり、沿線には、小学校や飲食店、ホテル、商店、マンションが並んでおり、さらに夏の祭り時期には、ねぶた運行コースの一区間でもあることから、本市の教育、経済、文化にとって非常に重要な地域であると言える。

〈事業目的〉

当該整備区間は、平成25年度までに、電線類の地中化整備を完了しており、平成26年度からは、本市が平成13年11月に策定した「冬期バリアフリー計画」及び、平成15年9月に策定した「青森市バリアフリー推進整備計画」に基づき交通機能の整備を、また青森市景観計画で定める景観方針に基づき歩道空間の整備も行い、一年を通して安全、安心で且つ快適な交通を確保することを目的としている。

〈施工概要〉・・・資料③参照

○施工期間

平成26年度～平成27年度（2カ年）

○施工内容

融雪施設工（ヒートパイプ方式） A=約860㎡（融雪幅W=2.0m）

舗装工（融雪箇所：自然石平板 20cm×20cm t=4cm）

A=約860㎡、W=2.0m

（その他：擬石平板 20cm×20cm t=6cm、8cm）

A=約1,700㎡

街路灯設置（ガス灯風） N=6本

植栽（ステラーピンク、ハナミズキ科） N=18本

《景観に関するデザインコンセプト》

〈青森市景観計画で定める景観方針（計画地がどのような位置づけか）〉

中心商業地は、違法駐車や乱雑な広告類などの改善に努め、誰もが安全で快適な歩行者・道路空間の確保、特に青森駅周辺は青い海が感じられる都心地区として回遊性の高い一体的な景観づくりを進め、人が集まる青森市の「顔」にふさわしい魅力ある景観の創出に努める。また、緑・交流・集い・賑わいのある商業空間として、歩行者や来街者にもわかりやすいサイン、統一性のあるデザインの演出など、機能性に配慮した街並みの景観形成に努める。（商業地域景観）

〈設計を進める上で配慮したこと〉

舗装について・・・資料④、⑤参照

- ① 舗装の色彩は接続する国道4号と市道うとう橋通り線との調和を考え配慮したものとしている。
- ② 色調はホテル青森を始めとし、数々のオフィスビルやマンションなどが建ち並んでいることから、都会的なグレーと、既に整備済みのうとう橋通り線の基本色である桜御影調の2色を基本とする。また、2色にすることにより、歩行者と自転車が自然に分離して通行することを期待できる。
- ③ 横の3本線は、歩く目線で見た時に連続して押し寄せる海からの小波をイメージした。また白い模様は、植栽を予定しているステラーピンクの花びらが歩道に舞い散るのをイメージしている。

街路灯について・・・資料⑥参照

- ① 平和公園通り線は都会的な通りであり、また、昔からのねぶたが運行される通りでもあることから、ねぶたの雰囲気と調和のとれる昔風のデザインを用いることとし、また、青森市景観ガイドラインより、周辺施設等に配慮し、統一性のあるデザインに努めることからガス灯風の街路灯とした。
- ② ねぶた祭り期間中にはねぶたの色を際立てるように白色で点灯し、ねぶた祭り期間以外はナトリウム灯のオレンジ色で点灯する。

植栽について・・・資料⑦参照

- ① 選定したステラーピンクはヤマボウシとハナミズキの掛け合わせで、ウドンコ病に抵抗性があり、且つ耐寒性がある。
- ② 景観審議会（計画段階）の意見を踏まえ、選定した樹種に適した土壌を使用し、木の生育に支障のないようにする。

【景観審議会意見（計画段階）】

○街路灯について

- ・うとう橋通り線でガス灯風を採用したからガス灯風にするというのではなく、その通りの街並み、特徴を捉えたもので再度考えていただきたい。

○舗装について

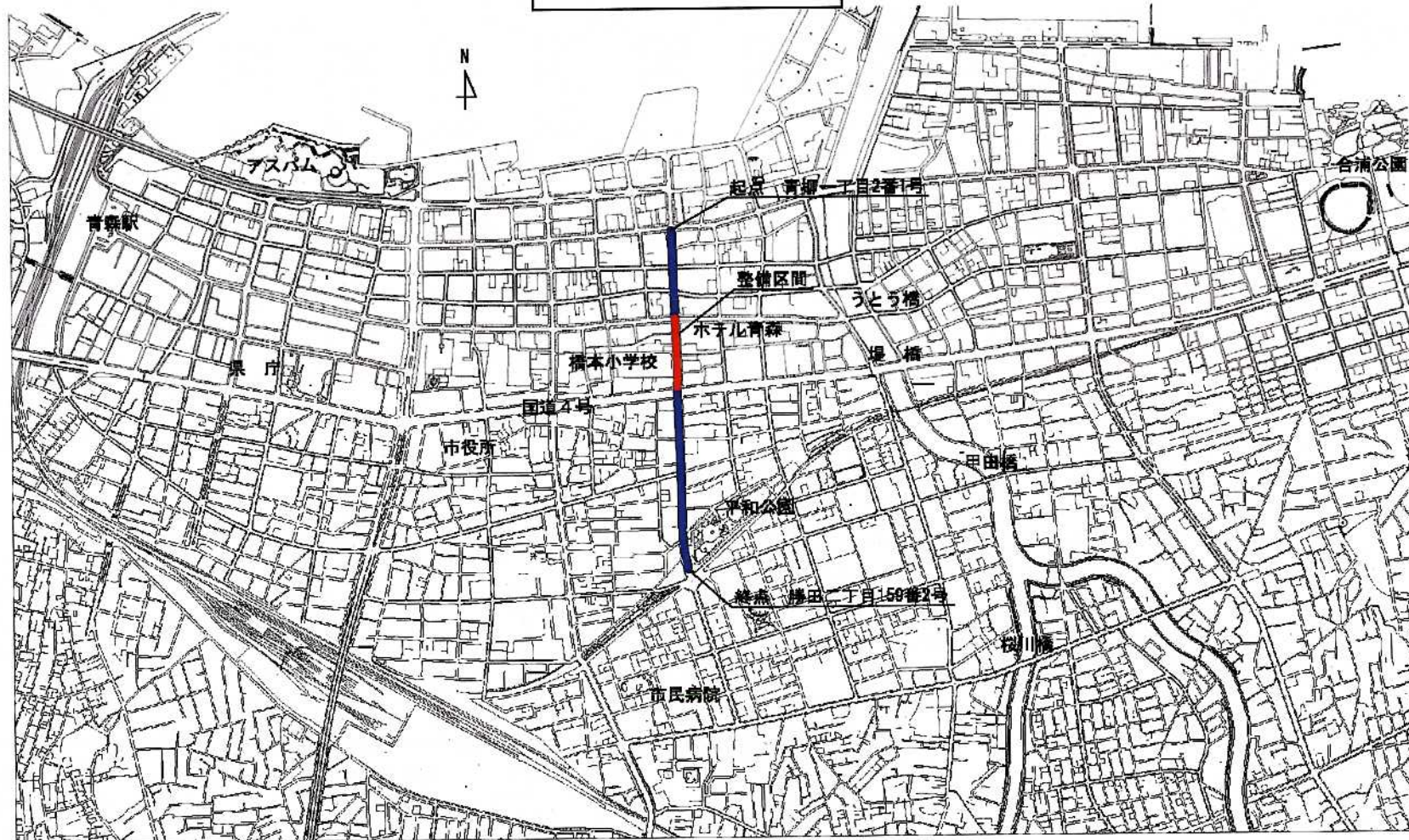
- ・公道は長期的に使用されるため、長期的な視点で素材を活かしたデザインを考えていただきたい。
- ・路面のデザインについては、補修するという前提で考えていただきたい。
- ・補修がアスファルトで考えているならば、アスファルトの色が入る前提でデザインを考えていただきたい。

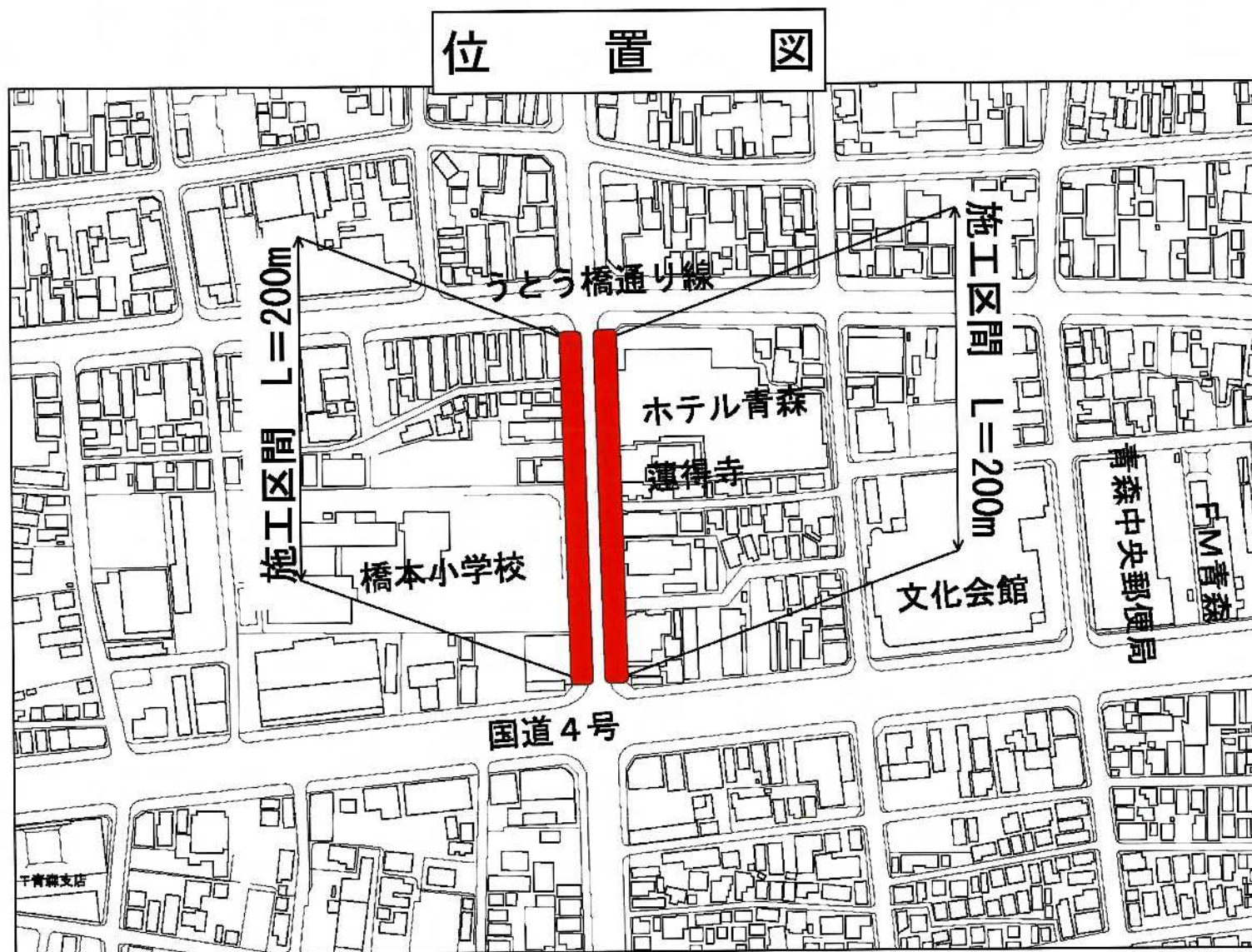
○植樹柵について

- ・植樹柵の土壌は、将来の樹木を景観に合わせる観点（花つきや樹木の育ち方など）から、土壌はしっかりと吟味していただきたい。

案内図

資料①

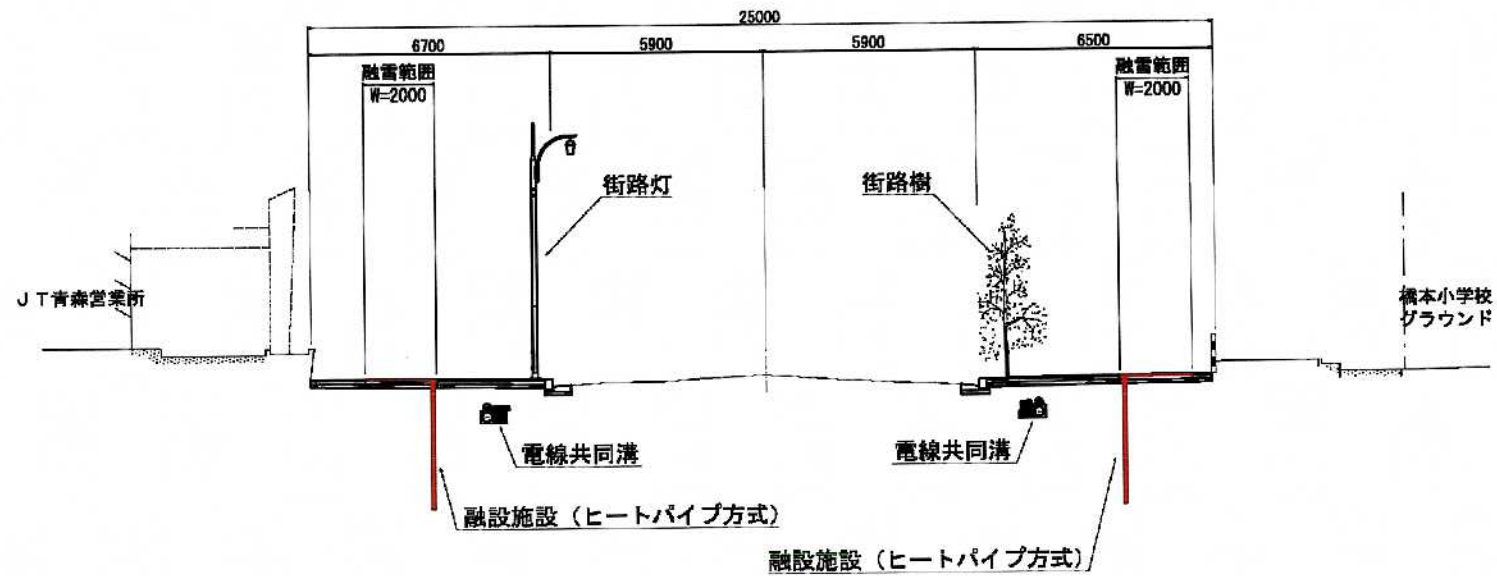




標準断面図

資料③

標準横断面図



詳細図



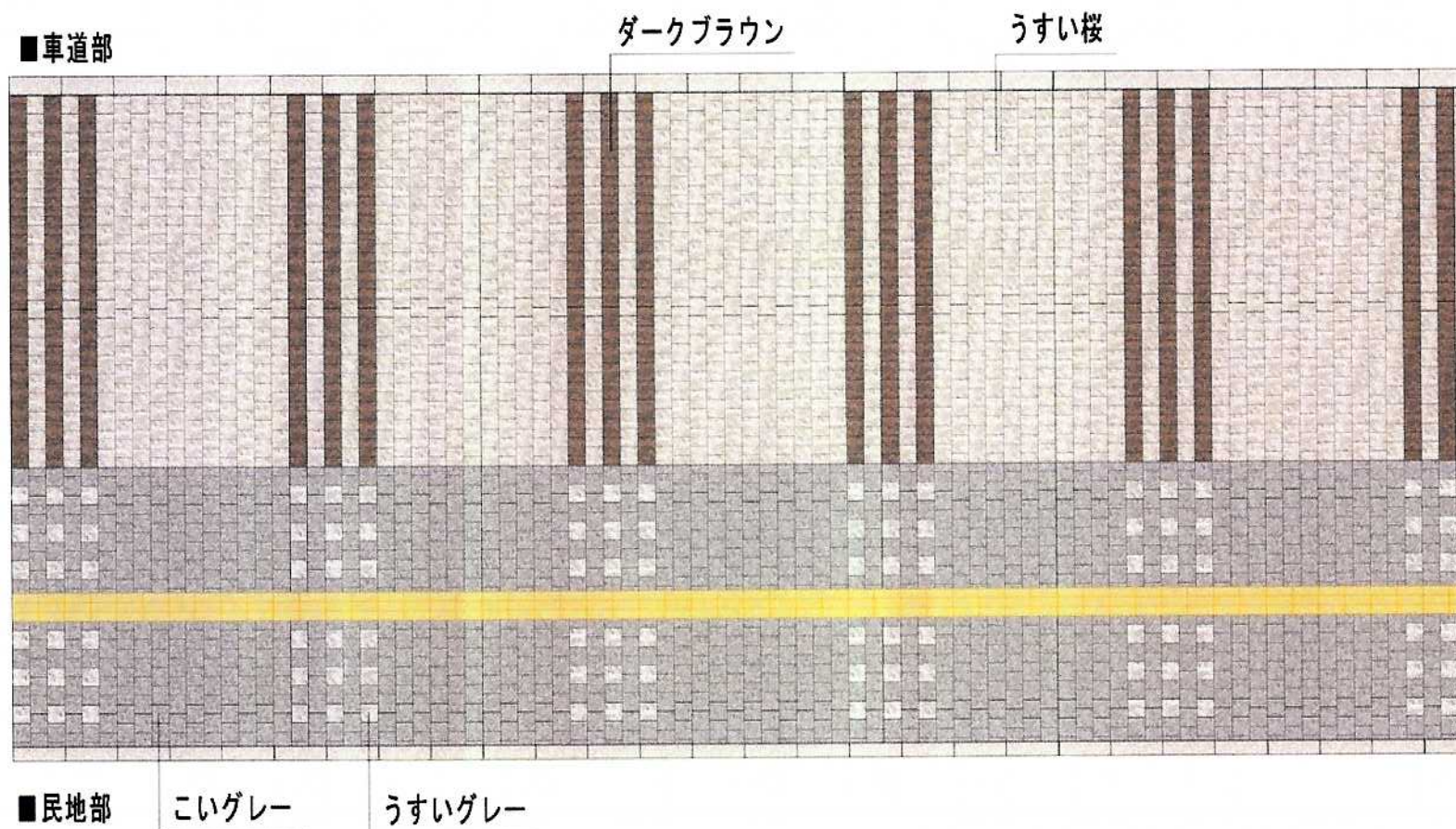
市道 うとう橋通り線舗装状況



国道4号舗装状況

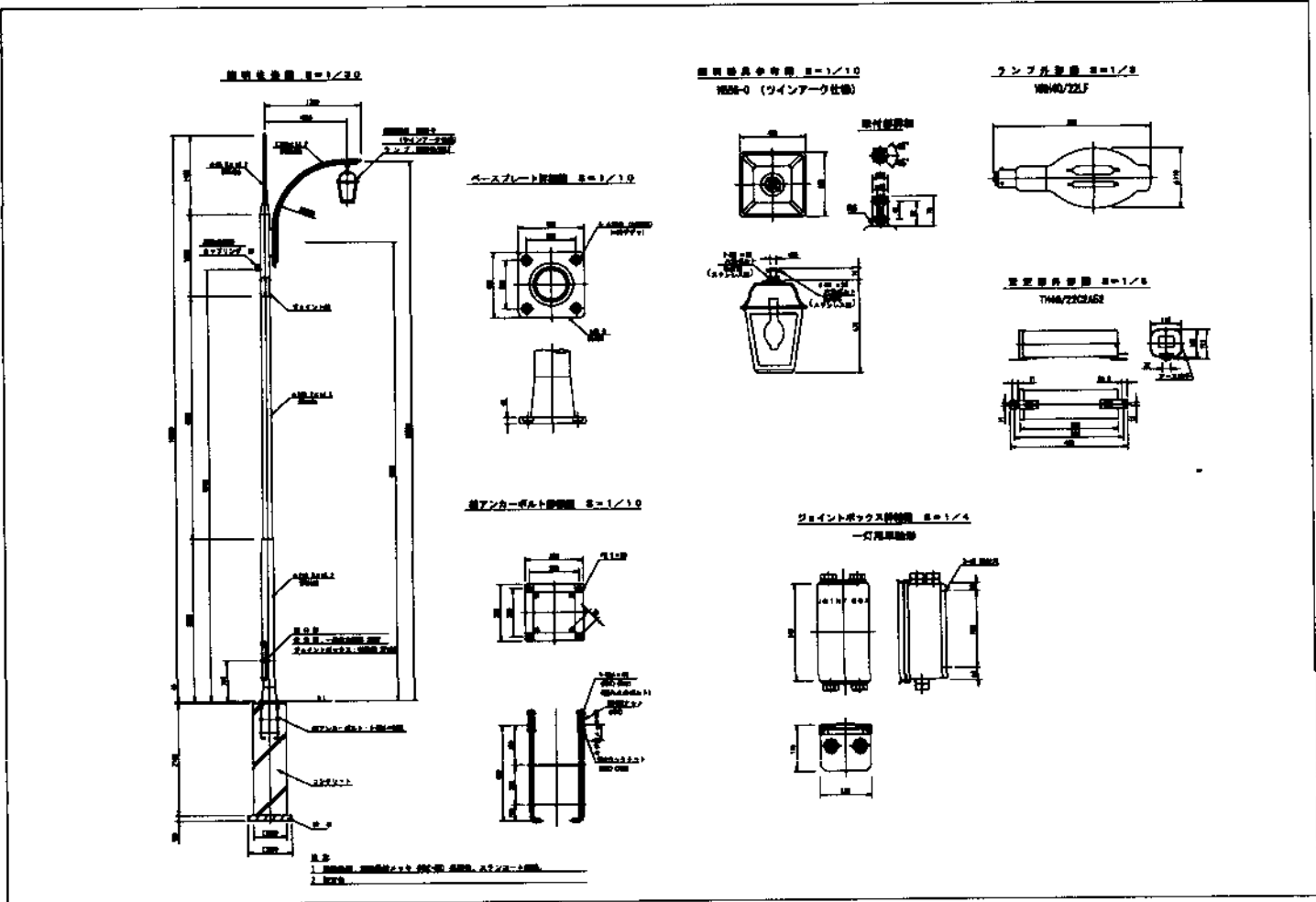
舗装材

資料⑤



街路灯

資料⑥



街路樹

資料⑦



ハイブリッド・ハナミズキ 'ステラピンク'(Hybrid 花水木 'Stellar Pink')

ハイブリッド・ハナミズキ(Hybrid 花水木)は、アメリカのラドガーズ大学がハナミズキとヤマボウシを交配して育苗したミズキ科ミズキ属の耐寒性・耐病性の落葉性高木です。このステラピンク('Stellar Pink', 学名: *Cornus x Rutgan*)は、ハイブリッド・ハナミズキの花色(実際は苞色)が桃色花を咲かせる一品種で、薄桃色のハナミズキと白花のヤマボウシを交配したもので、春～夏、白地に薄桃色をぼかしたような花(苞)を咲かせ、秋には赤い小さな実が成り紅葉します。ハイブリッドにすることで、樹形が整い、成長がより早く、沢山の花を咲かせ、耐病性(ハナミズキのうどん粉病を克服)、耐寒性・耐陰性が高められました。ハイブリッド・ハナミズキには、ステラピンクの他、苞色が白地に緑色をぼかしたようなオーロラ(Celestial Aurora, 学名: *Cornus x Rutban*)や白花の大輪を咲かせる

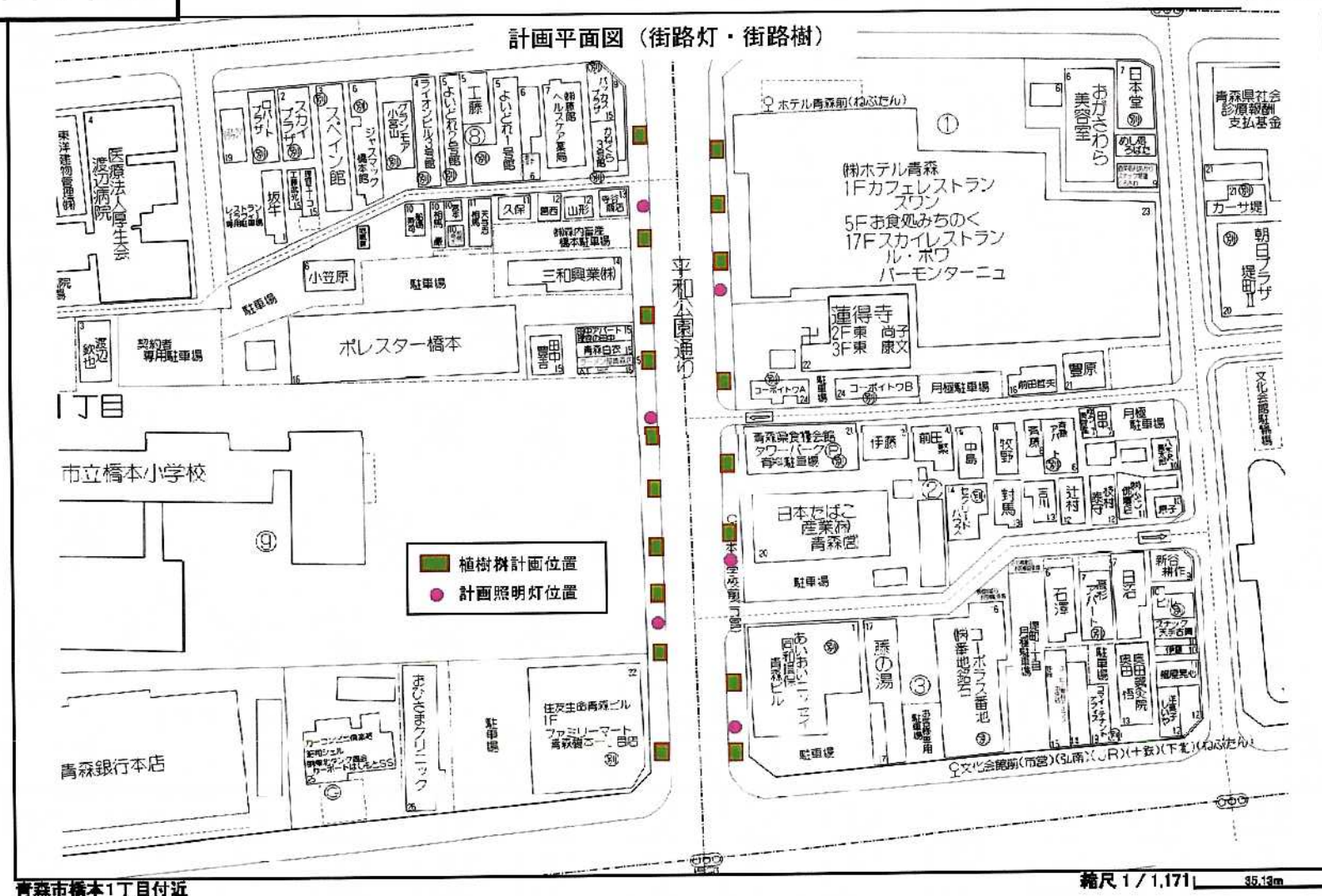
コンストレーション(Constellation, 学名: *Cornus x Rutcan*)、早咲きで多数の白花を咲かせるルースエレン(Ruth Ellen, 学名: *Cornus x Rutlan*)、薄黄のセレスティアル(Celestial, 学名: *Cornus x Rutdan*)などの品種があります。街路樹や庭木、記念樹などに利用されます。

一般名: ハイブリッド・ハナミズキ(Hybrid 花水木)
学名: *Cornus x rutgers*
科属名: ミズキ科ミズキ属
別名: ラドガーズ・ハイブリッド、ハナボウシ
原産地: 北米東部
分布: 北海道～沖縄までの日本
樹高: 2～10m 花色: 白・桃・薄黄・薄緑 開花期: 5～6月



計画平面図

資料⑧



イメージパース

資料⑨

着工前



完成予定



写真

資料⑩

①から撮影した写真



⑥から撮影した写真



②から撮影した写真



③から撮影した写真



④から撮影した写真



⑤から撮影した写真

